



年 組 名前

道新でワークシート

トドワラを背景に草をはむ雄シカの群れ



雄シカゆったり野付半島

食害や衝突懸念も

【別海】道内最大級のエゾシカの越冬・生息地である野付半島で、50頭ほどの雄の大群が姿を見せ、トドワラを背景に草をはんでいる。

野付半島ネイチャーセンターによると、春から夏にかけて半島のエゾシカの多くは先端部の林で過ごす。雄シカは繁殖期以外は雌の集団と離れて生活している。生え始めの柔らかい袋角ふくろのつづが伸びるこの時期は、雌を巡って角を突き合わせることもないという。

広大な草原をゆつくりと移動する雄シカの群れは見応えがあり、観光客の人気を集める。その一方、エゾカンゾウの若芽や花などが食べられる食害や、車両との衝突など深刻な問題もある。

同センターのネイチャーガイドいしあろし石下亜衣紗さんは「野付半島は希少な植物が生育する場所。共生が今後の課題です」と話す。

(金本綾子、写真も)

2017年7月4日朝刊釧路・根室版 (記事は再編集しています)

①記事の写真から、あなたはポジティブな印象を持ちましたか。それともネガティブな印象を持ちましたか。どちらかを選び、その訳も書きましょう。

②「共生が今後の課題」とありますが、この記事全体からは、何と何の「共生」が課題だと考えられますか。